

カタログの見かた(取引・証明用はかりに使われる用語)

最小測定量(使用範囲)

「取引・証明」用として、そのはかりが使用できる、計量値の一番小さい値。それ以下の計量値について、表示されていても、「取引・証明」用としては使用できません。

この最小測定量は、そのはかりの等級(精度)によって規定されています。エー・アンド・デイのカタログでは分かりやすいように「使用範囲」という表現にしています。

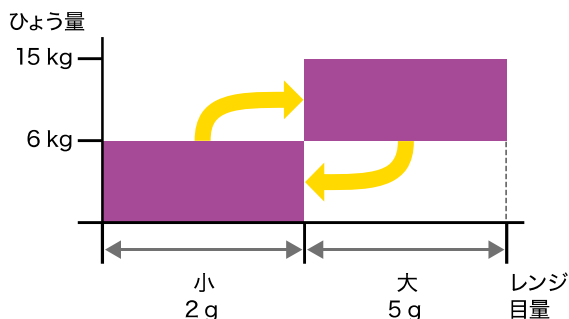
例：GX-203A-K ひょう量220 g / 目量 0.01 g / 使用範囲 0.02 g～220 g

※ GX-203A-Kの最小測定量は0.02 gです。従って0.02 g未満は「取引・証明」としては使用できません。

単目量／多目量／複目量

- 単目量：ひょう量に対して0 g～ひょう量までの目量が1つだけのもの
例：EK-610i-K ひょう量 600 g / 目量 0.1 g
- 多目量：はかる物の重さによって目量が切替わるもの
例：SQ-15K ひょう量 0～6 kg：目量 2 g / ひょう量 6～15 kg：目量 5 g
- 複目量：目量の違う複数のはかりを切替えて使えるもの
例：EW-600i-K 小レンジ(0～300 g)の時の目量＝0.1 g
大レンジ(0～600 g)の時の目量＝0.2 g

多目量のイメージ



多目量のはかり

小 ⇒ 大 / 大 ⇒ 小

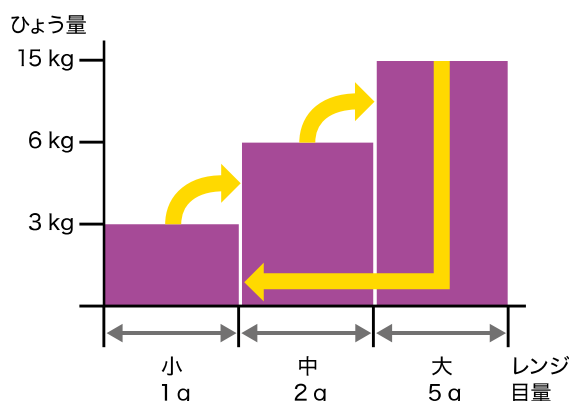
計量物の重さによって、レンジが自動で切替わる

★ポイント

軽いものをはかるとき＝細かい目量

重いものをはかるとき＝粗い目量

複目量のイメージ(トリプルレンジの場合)



複目量のはかり

小 ⇒ 大 自動もしくは手動で切替わる

大 ⇒ 小 表示値がゼロになったら小レンジに

(自動もしくは手動で)切替わる

★ポイント

1つのはかりの中に小～大までの3つのはかりが入っているイメージ

① ひょう量 0～3 kg / 目量 1 g (小さいはかり)

② ひょう量 0～6 kg / 目量 2 g (中くらいのはかり)

③ ひょう量 0～15 kg / 目量 5 g (大きいはかり)

※ 大きいはかりから、小さいはかりに切替える場合
⇒ 一旦、計量皿に何も載っていない状態にし、表示値がゼロになったらできる(リセットできる)

補助表示／拡張表示の違い

補助表示：目量よりも下の桁の数値(実目量(d))が別枠で表示される。

※別枠で表示されている数値は「取引・証明」には使用できません。

(搭載機種：GX-A-K/FZ-iWPR/FZ-iR/GX-M-K/GX-L-K)

拡張表示：目量よりも下の桁の数値(実目量(d))が一時的に表示される。

(搭載機種：EK-610i-K / EK-6100i-K)

プリンタ等への出力

・補助表示：補助表示の桁は[]カッコ付にて出力(GX-A-K, GX-M-K)

・拡張表示：データ出力不可

「取引・証明」に使える桁 補助表示
(枠で囲われている。)

8.888g

「取引・証明」に使える桁

52.4 g
52.5 g

※ 一時的に表示される数値は「取引・証明」には使用できません。

52.43 g
52.46 g

拡張表示、sample キーを押すと
(5秒間だけ一桁下の数値がでる。)